

JSPS Information

- ◇日本惑星科学会入会案内
- ◇学会誌購読申込み
- ◇第8回運営委員会議事録
- ◇第9回運営委員会（書面による）議事録
- ◇第16期日本学術会議会員候補者及び会員推薦人選挙結果
- ◇年会費納入のお願い
- ◇第2期役員名簿
- ◇賛助会員名簿

◇日本惑星科学会入会案内

「日本惑星科学会」は平成4年4月に発足しました。新学会の設立目的は、まず惑星科学それ自体の振興にあります。旧来分野の垣根を取り払い、相互理解や情報交換を積極的に進め、また、異なった手法、異なった対象の研究を集約し総合的な視点にたつて惑星科学を推進することが第一の目的です。また、本格的な惑星探査の時代を迎え、日本の惑星科学界全体として直接、間接に探査計画を支え、さらには将来の探査計画を立案すべく、新学会がその組織化をはかることも重要です。同時に、惑星科学研究の国際的な共同計画に日本の応分の負担と協力が求められている現在、新学会が力量を高め、国際的な窓口としての役割も果たすことになると思われます。更には、惑星科学の成果を社会に還元したり、また、中・高校生など若い人材を惑星科学に勧誘するための広報活動も新学会の重要な責務です。

このような日本惑星科学会設立の主旨にご賛同

くださり、今後の惑星科学の発展をともに担う広範な分野の方々の入会をお待ちしています(会則は創刊号に掲載されています。また第2期役員名簿は本誌59ページに掲載されています)。

入会の方法は下記の通りです。

年会費：6,000円（但し、学生会員は4,000円）

入会手続：

- (a)入会申込書(本誌巻末に綴込まれています)にご記入の上、事務局にご送付下さい。
- (b)運営委員会において入会が認められますと、事務局より入会受理のお手紙を差し上げます。
- (c)その後、(財)日本学会事務センターより年会費請求書が送付されます。請求書に従って年会費をお振り込み願います。なお、入会受理より年会費請求まで遅延があります(最大2ヶ月程度)が、会員としての権利は入会受理と共に発生します。

事務局：

〒152 東京都目黒区大岡山2-12-1
東京工業大学 理学部 地学内
TEL：03-3720-9885；FAX：03-3727-4662

〒113 東京都文京区本駒込5-16-9
(財)日本学会事務センター

TEL：03-5814-5801；FAX：03-5814-5820

◇学会誌購読申込み

本誌「遊・星・人」は会員外の方でも1号あたり1,750円(含送料)で購読することができます。購読希望の方は、本誌巻末の「学会誌購入申込カード」に所定の事項をご記入の上、事務局にお申し込み下さい。なお、バックナンバーについては創刊号から購読できますが、発行予定のものについ

ては同年内発行のものまで(第1号より第4号まで)となっておりますのでご注意ください。

学会事務局が購読申込書を受け取り次第、請求書(他必要書類)、バックナンバー及び最新刊会誌を送付します。詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

◇第8回運営委員会議事録

日時：1993年10月15日(金)12:30～13:20
16日(土)12:20～13:10

場所：大阪大学教養部自然科学棟会議室

出席者：中澤・水谷・武田・荒川・北村・杉浦・高木(16日のみ)・土山・留岡・藤原・松井(16日のみ)・向井・村江・山本(以上出席者)、大谷・川口・佐々木・高木(15日のみ)・寺沢・藤井・福岡・柳川(以上委任状)、井田(15日のみ：オブザーバー)

1. 報告

(1)会員の現況

中沢会長より9月17日時点での学会員の現況報告があった。会員内訳は

一般会員 282, 学生会員 107, 賛助会員 12 であり、400名を突破したこと、昨年同月にくらべ約80名増であることが報告された。

(2)学術研究団体の登録

日本学術会議第16期会員選挙に先立ち、本年5月、学術研究団体登録申請の機会(3年に1度)

があり、当学会も申請を行ったところ、登録認知された旨、また、関係研連としては地球物理学研連を指定した旨、中澤会長より報告があった。この報告に関連して、名実とも学会として確立した今、本会会員名簿を作成する必要があるのではないかの意見が出され、学会誌「遊・星・人」に掲載する形、経費節減のため事務局で印刷・仮製本する形、次期役員選挙前まで発刊を繰り延べるなど、経費と手間を考え事務局で検討することとなった。

(3)地球惑星関連学会連絡会報告

標記会合が9月21日国立博物館で開かれ、本学会からは山本・中川両学会連合等部会員が出席した。討議内容について山本部会員から以下の通り報告があった。(a)来春の関連学会合同大会のプログラム校正、発送等に供するため、本学会員の名簿の送付が求められている。(b)次期合同大会のプログラム委員、世話人など以下の通りお願いした。プログラム委員：大槻、松涛、共通セッション「月の起源と進化」世話人：三澤、藤村、「地球内

部進化」世話人：八木，大谷，シンポジウム「彗星と木星の衝突現象」世話人：渡部，山本，寺沢。
(c)連絡会の事務局を置く必要があるか，どこにどのような形で置くべきか，各学会の意見を求められている。

なお，上記(c)に関連して，「連絡会事務局は必要であり本筋としては日本学会事務センターに委託すべきであろうが，経費面からの制約も考えると，関連会員数の多い東大地震研の地震学会事務局に御願いせざるを得ないのではないか」との意見を連絡会に返答することとなった。

(4)財務専門委員会報告

杉浦財務専門委員長より今年度の財政状況につき，会員収入が昨年に比べ約80万円減となる見込みであるが，学会誌印刷費の軽減，事務局経費の切り詰めなどの努力の結果，おおよそ収支はバランスしそうであること，また，昨年度の借入金(120万円)の返済については見通しは立っていない，との報告があった。

(5)ニュースレターの定期発行

本年度よりニュースレターの定期発行(年6回)に踏み切ったので，人事公募などに活用して欲しい旨，中澤会長よりアナウンスがあった。同時に発行回数の増加に伴い郵送料が倍増しており，ニュースレターのE-mail化に向け本格的な準備に入る旨報告があった。

2. 議 事

(1)科研費時限細目「惑星科学」の恒常化について

標記細目は今秋の募集で最後となり，来年度一杯で終了する。他方時限細目のその後の取り扱いについて学術審議会等で検討を始めた模様で，本

学会としても今後のなりゆきに重大な関心を寄せている。新しい分野である惑星科学は研究・教育の基盤が弱く，科研費の果たす役割は重大との認識から，恒常化にむけて学会として努力すべきではないか，との提案が中沢会長よりあり，議論の結果，今秋の申請時において申請件数を増やすべく早急に努力すること，資料等を取りまとめ恒常化にむけた働きかけをすること，などの方針が打ち出された。

(2)惑星科学関連専門書の出版について

Terra Publicationsより，惑星科学関連のシリーズ本を出版したいとの申し出が水谷副会長にあり，同副会長より積極的な方向で検討してはどうかとの提案があった。議論の結果，惑星科学に関連するいわゆる通俗本は多々あるが，大学院生レベルを対象とした本格的な本がないことから，水谷副会長を世話人とするワーキンググループを作り，具体案を検討すること，そのメンバーは水谷世話人に一任すること，となった。

(3)委員の交替

編集専門委員会向井委員長より，同委員会井田委員が2年間幹事をつとめたこともあり，また委員長と幹事が同時に替わることを避けるため，1994年1月から同委員会の佐々木(晶)委員に交替したい旨提案があり，了承された。

(4)次年度秋期講演会開催について

94年度秋期学会講演会の開催地について検討した結果，名古屋大学を第一候補とし，加藤(学)委員に開催の可能性をさぐってもらうこと，もし名大開催が無理な場合，神戸大学を第二候補とすること，となった。

◇第9回運営委員会（書面による）開催経緯及び議事録

日 時：1993年12月20日（月）～21日（火）

出席者：中澤*・荒川・大谷・川口・佐々木・高木・寺沢・留岡・林・藤井・藤原・松井・向井・村江・柳川・矢内・山本（以上参加者）、北村*・土山*・福岡*（以上委任状）[なお、*印は議決には参加していないものを示す]

議 題：日本学術会議会員候補及び会員推薦人の選出方法

議決方法：議決用紙に賛否等を記入し、期間内にFAXで事務局に送付する

成立条件：期間内に返信数が規定数を超えること
議決確認：送付された議案用紙を総務専門委員長が確認

1. 書面委員会開催に至った経緯

本学会が日本学術会議登録学術研究団体として認知されたことに伴い、日本学術会議会員候補者及び会員推薦人を本学会より推薦できるようになった（届け出期限1994年1月31日）。12月6日には「第16期日本学術会議会員候補者及び会員推薦人の届け出についての説明会」が日本学術会議で開催され、中川学会連合等部会委員が出席した。

本会発足当時作られた日本惑星科学会会則には、日本学術会議会員候補者及び会員推薦人の選出方法についての規定は盛り込まれておらず、中川委員の報告をもとに、総務専門委員会で検討した結果、運営委員会を開き、(1)選挙管理委員会を設置し、候補者の選挙による選出を行う、(2)今回は推薦公募等受付を行わず、運営委員会で被選挙人の推薦を行う、(3)今回の選出方法を吟味した上で、会則、細則に「選出規定」を盛り込む、ことが提案された。

これを受け、本学会事務局より運営委員に対し、年内に運営委員会開催の可能性を打診したが、多忙な時期にあたることから委員会開催を断念せざるを得なかった。そこで下記の要領で書面によって運営委員会を開催することとした。

記

期 間：1993年12月20日～21日

2. 議 事

(1)日本学術会議会員候補者等の選出について

標記議題につき中澤会長より以下の通り4議案の提案があった。

議案Ⅰ. 選挙管理委員会の設置について

『「日本学術会議会員候補者および会員推薦人の選出」のための選挙管理委員会を運営委員会のもとに置く。本選挙管理委員会は、会長等選挙に準じ、委員長および3名の委員から構成し、総務専門委員会委員長を長とし、3名の委員は運営委員会委員の互選により選ぶ。』に関する賛否。

議案Ⅱ. 選挙管理委員の選出

a.投票方法：3名連記

b.被選挙権者：運営委員

なお、会長（中沢）、副会長（水谷、武田）は運営委員ではないこと、また、総務専門委員長（藤原）には被選挙権のないことに注意。

議案Ⅲ. 会員候補者および推薦人の選出方法

『「日本学術会議会員候補者および会員推薦人（含その予備者）」は、運営委員により推薦者を選出、公示した上で、学会員の投票によって決定する。但し、公示された推薦者以外の者への投票も有効である。選挙実施に関する詳細は選挙管理委員会に委ねる。』に関する賛否。

付帯説明：日本学術会議会員候補者および会員推薦人（含その予備者）の選出方法として、第1段階として、立候補・推薦者の公募制を導入する

ことも考えられるが、

- a.今回は時間的余裕がない、
 - b.推薦等の公募受付には本投票に先立ち「ニューズレター」の発行を伴うが経費逼迫の中、できるだけそれを避けたい、
- との配慮から推薦等公募受付をスキップした形での提案となった。

なお、3月に予定している第2回日本惑星科学会総会においては、今回の選挙実施の反省をも加味し、もう一度選挙方法を吟味した上で、会則、細則の条項追加を行なう。

議案Ⅳ。「会員候補者および推薦人」の推薦
会員候補者

- a.投票方法：4名連記
- b.被選挙権者：日本惑星科学会会員（学生会員を除く）
- c.推薦者決定：得票上位8名以内

会員推薦人

- a.投票方法：2名連記
- b.被選挙権者：日本惑星科学会会員（学生会員を除く）
- c.推薦者決定：得票上位4名以内

(2)委員会の成立

冒頭にあげた通り委員会開催通知を事務局よりFAX送付した時点で3名の委員から委任状が送られ、また、開催期間中に16名の運営委員よりFAX送付があった。これらを委員会“出席者”とし、本委員会は成立したものとみなせる。

(3)議決

議決集計の結果、各議案に対する賛否等は以下の通りであった。

議案Ⅰ：選挙管理委員会の設置の是非

賛成 16 反対 0

この結果、中澤会長の提案通り選挙管理委員会を設置することとした。

議案Ⅱ：選挙管理委員の選出（3名連記）

山本哲生	8	寺沢敏夫	3
佐々木晶	8	藤井直之	1
杉浦直治	7	高木靖彦	1
福岡孝昭	6	無効	10
林 正彦	4		

この結果、上位3名を選挙管理委員とすることにした。

議案Ⅲ：会員候補者及び推薦人の選出方法

賛成 16 反対 0

この結果、中澤会長の提案通り推薦者を選出することとした。

議案Ⅳ：「会員候補者及び推薦人」の推薦

会員候補者（4名連記）

中澤 清	15	松井孝典	2
水谷 仁	13	藤原 顕	1
武田 弘	12	大家 寛	1
向井 正	7	中野武宣	1
藤井直之	3	北村雅夫	1
小嶋 稔	2	松田卓也	1
白票	5		

会員推薦人（2名連記）

藤原 顕	4	留岡和重	1
向井 正	5	松田准一	1
大谷栄治	3	中澤 清	1
武田 弘	3	北村雅夫	1
山本哲生	3	阿部 豊	1
松井孝典	2	林 正彦	1
杉浦直治	2	藤井直之	1
寺沢敏夫	2	矢内桂三	1

上記投票結果をもとに総務専門委員会と相談し、「会長候補者」は得票数差を 考え上位4名を、また、「会員推薦人」については第4位同票数のため（議案Ⅲにもかかわらず）上位5名を運営委員会として推薦することとした。

◇第16期日本学術会議会員候補者及び会員推薦人選挙結果

1994年1月7日付選挙公報で公示した通り、本学会が日本学術会議学術研究団体として登録されたことにより、第16期日本学術会議会員候補者2名および会員推薦人1名、同予備者1名を届け出ることができるようになった。

それを受け、届出者決定のための選挙を1994年1月7日より1月20日まで行い、1月21日には選挙管理委員会において開票を行った。

投票総数は99票（無効票0）であり、開票結果は以下の通り。

会員候補者

中澤 清	80
水谷 仁	61
武田 弘	29
向井 正	24
河野 長	1
荒川政彦	1
白票	2

推薦人（及び予備者）

向井 正	28
大谷栄治	20
山本哲生	20
藤原 顕	15
武田 弘	14
水谷 仁	1
阿部 豊	1

この結果、会員候補者としては中澤清、水谷仁両会員を、推薦人としては向井正会員を選出した。また、推薦人予備者については、推薦人選挙第二候補者が2名いたため、選挙管理委員会で抽選を行い、大谷栄治会員を選出した。

なお、会員候補者については1月26日に、また推薦人及びその予備者については2月1日に本学会事務局より日本学術会議会員推薦管理会に届け出た。

選挙管理委員会委員長 藤原 顕

◇第3期会計年度年会費の納入のお願い

1994年1月1日から新会計年度に入っております。それに伴い、年会費請求書が各会員に届けられておりますので、請求書に従いすみやかに会費納入をお願いします。

現在、日本惑星科学会の財政は逼迫しており、会費の納入忘れや納入の遅れが多数ありますと、会費を値上げせざるを得ないという状況にもなりかねません。迅速な納入をお願いいたします。

◇日本惑星科学会第2期役員名簿

会 長

中澤 清 (東工大・理)

副会長

武田 弘 (東大・理)

水谷 仁 (宇宙研)

監 事

中野 武宣 (天文台)

松田 准一 (阪大・理)

運営委員・幹事・財務専門委員長

杉浦 直治 (東大・理)

運営委員・幹事・総務専門委員長

藤原 顕 (宇宙研)

運営委員・編集専門委員長

向井 正 (神戸大・理)

運営委員・将来計画専門委員長

留岡 和重 (神戸大・理)

運営委員・対外協力専門委員長

松井 孝典 (東大・理)

運営委員

荒川 政彦 (北大・低温研)

大谷 栄治 (東北大・理)

川口淳一郎 (宇宙研)

北村 雅夫 (京大・理)

高木 靖彦 (東邦学園短大)

土山 明 (阪大・教養)

寺沢 敏夫 (東大・理)

林 正彦 (東大・理)

福岡 孝昭 (学習院大・理)

藤井 直之 (名古屋大・理)

村江 達士 (九大・理)

柳川 弘志 (三菱化成)

矢内 桂三 (極地研)

山本 哲生 (宇宙研)

運営委員・企画部会長

佐々木 晶 (東大・理)

学会連合等部会長

中川 義次 (東大・理)

◇日本惑星科学会賛助会員名簿

1994年2月25日までに、賛助会員として本学会に御協力下さった団体は下記の通りです。社名等を掲載し、敬意と感謝の意を表します(五十音順)。

(株)大林組

清水建設(株)宇宙開発室

(株)竹中工務店

(株)パスコ

日本電気(株)宇宙開発事業部

(株)日立製作所

富士重工(株)航空宇宙事業本部

(株)本田技術研究所

(株)三菱重工

(株)三菱プレシジョン

(財)リモートセンシング技術センター